

福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員長 石田 東生
日時・場所	日時：平成17年 8 月 30 日 19時～21時15分 場所：コミセンわじろ5階
PI活動の種類	説明会(福岡地区)
訪問時の状況	市民等参加者 67名 事務局従事者 15名程度
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多くの人(全部で延べ12名)が、多様な意見を発言できたことは良かった。司会の努力もあろうが、発言者の自己規律がよく働いていて、短時間に発言する努力をしていただいているようであった。</li><li>・ ただ、質疑応答を含めて20分近くマイクを独占されていた方もいたこと、他人の発言中に「やめろ」等のヤジが飛んだこともあったことなどを考えると、今後は、意見交換をさらに幅広くし、より多くの方が自由に発言できるような環境整備(意見交換等についての一般的原則：例えば、発言時間はできるだけ短く、他人の発言中の野次や談笑の自粛、など)についての工夫が必要かと思われる。</li><li>・ PI資料の作成方法についても、重要かつ参考となる意見があったので、今後の参考にするべきである。</li><li>・ 有識者委員会の中立性の確保と検証の方法についての意見があった。第1回の有識者委員会では、委員会はプライバシー保護等の明確な理由がある以外はすべて公開で実施することが中立性と第三者性を獲得する上での前提条件であること、そしてその中で委員自らが中立性と専門性をもって考え、発言し、活動することを積み重ねることが社会的に受容されるためには決定的であることを議論し、確認したが、このことの重要性を再確認することになった。今後とも心して監視・助言を続けていきたい。</li></ul>

- P Iはまだ始まったばかりなので、徐々に連続的に改善していくという考え方が重要である。
- 次の二つは、説明会の具体的な改良についての提案である。
  - \* 会場の都合もあったのですが、説明要員が2列に並んでいたため、特に後列の方の所属が不明であった。また、所属が書いてあるだけで氏名が不明であったこと、所属も活字が小さくよく見えなかったことなどが指摘できる。顔の見えるP Iが重要なので、氏名を含めて大きく書くこと、及び、説明者紹介の折りにP P Tに所属と氏名を映写することなどを試みられるのはいかがでしょうか。
  - \* P Iレポートの説明用のスクリーンによる表示のフォントが小さく、よく見えなかったことがたびたびあった。手元にレポートがあるのでそれを見てくださいということなのであるが、今後は更なる工夫が必要かもしれない。